

令和元年度地震・津波防災訓練 (内閣府・長崎県島原市)

実施報告書 (概要版)

長崎県島原市について

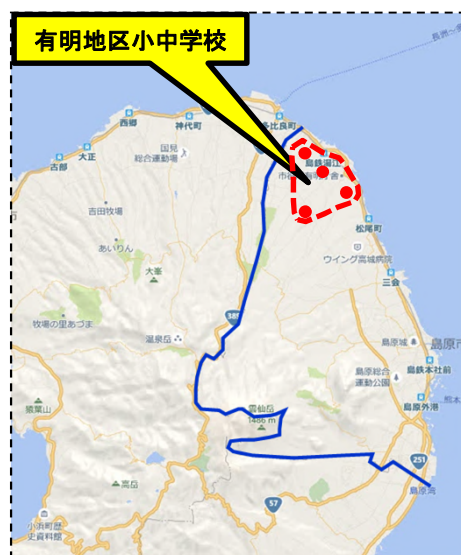
島原市は、長崎県の南東部の島原半島に位置し、半島の中央部にある雲仙普賢岳は噴火を繰り返す活火山として有名です。

最近では1990年（平成2年）11月17日から普賢岳が噴火、翌1991年（平成3年）6月3日には火砕流が発生し43人が亡くなりました。

島原市では、雲仙普賢岳災害から約30年が過ぎ、自主防災組織の活性化を図るために、組織の再編をはじめ、自主防災会長会議の開催、或いは、女性を対象とした研修会の開催などを実施しています。

避難訓練は、毎年、市内を4地区に分けて実施し、特に休日を小中学校の登校日として、家族とともに訓練への参加を促しています。

また、避難行動要支援者の避難・誘導が手付かずの状態だったという反省から、福祉施設利用者の徒歩及び関係機関の車両による避難訓練を実施し、今後の避難行動要支援者の避難対策に生かすこととしています。



出典：国土地理院

令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・長崎県島原市）

訓練概要

- 訓練想定：「令和元年11月10日、午前8時45分に、雲仙地溝南縁東部断層帯・雲仙地溝南縁西部断層帯を震源とする2連動地震が発生し、島原市最大震度6強を記録、最大4mの津波が5分後に押し寄せる見込みである。」との想定で、島原市は直ちに住民に対し津波からの避難を呼びかけました。
- 実施日時：令和元年11月10日（月）08:45～11:30
- 主催：内閣府、島原市
- 参加者数：2,666名
- 参加機関：自治会・自主防災組織、市内小・中学校・保育園・幼稚園、福祉施設、国交省雲仙復興事務所、食生活改善推進員協議会、警察、消防、消防団、自衛隊

訓練の評価

訓練当日は、天候に恵まれ、地域住民1,528名、小・中学生773名、関係機関365名を合わせ2,666名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民へのアンケートの結果

- 不十分であっても回数を重ねることにより、意識が向上してくると思う。
 - 定期的にできたらいいと思った。
 - 今回の訓練で、災害・避難カードの記入や実際の避難により、避難所が確認できたのが良かった。
- という評価の一方で
- 避難所の収容人数に限りがあると思った。
 - 昼間避難と夜間避難の違いがあると思うので、夜間避難訓練も必要
 - 高齢者の車椅子移動で、避難に時間がかかった。
 - 小さな子連れの避難生活は無理だなと感じた。
 - 避難指示の放送が2回で短く周知できないと思う。一次避難所で放送があったが声が割れて内容がわからなかった。
- 等の意見も出された。

島原市職員からは、

- 今年初めて取り組むシェイクアウト訓練、防災・避難カードを使った避難は、よい取り組みだと思い、これを成功させ本災害時にも生かしてきたいと思った。
 - 今回提供いただいた自治会の「のぼり」を携行して避難して来ており、まとまって訓練された感があり、コミュニティの連携も取れていた。
- との所見が出された。

小中学生は、災害・避難カードを作成・携行して避難訓練に参加しており将来の防災の担い手育成の一助となった。

さらに、福祉施設からの高齢者の避難訓練を実施したが、高齢化が進む地域では、中学生は支援者として大きな存在であり、引き続き自治会や福祉施設と中学校が連携した訓練を実施することが必要である。

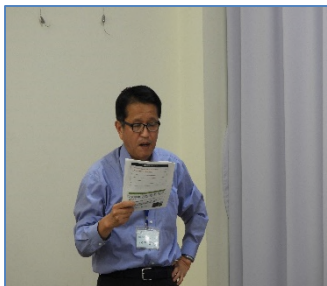
令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・長崎県島原市）

訓練内容

10月15日18:00～20:30 災害・避難カードの作り方・使い方の説明会

有明地区自治会調整会議において、自治会長等に対して、災害・避難カードの作り方・使い方の説明会を実施し、参加者は自治会員への説明の資とするため、熱心に受講していた。

▼地区自治会調整会議における災害・避難カードの説明



11月10日08:45～09:30 シェイクアウト訓練及び津波避難訓練

有明地区全体を対象に、住民が一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。その後、小中学生・幼稚園児及び住民は、記入した災害・避難カードに基づき、当初一次避難所へ避難、人員点呼後、指定避難所へ避難を実施した。

▼シェイクアウト訓練



▼福祉施設から高齢者の避難



▼災害・避難カードを携行して避難



11月10日09:30～10:30 展示訓練等

避難訓練終了後、各指定避難所において関係機関の展示訓練や住民参加の訓練が実施され、自助・共助による被害拡大防止の意識の高揚を図ることができた。

▼大三東小学校 画像送信訓練



▼有明中学校 心肺蘇生訓練



▼湯江小学校 消火訓練



11月10日08:45～10:30 炊き出し訓練、10:30～11:00 講演会

早朝から自衛隊及び食生活改善推進員協議会による炊き出し訓練を実施した。

展示訓練等終了後、国土交通省及び内閣府による防災に関する国の取組等についての講話を実施した。

▼炊き出し訓練



▼国交省講話



▼内閣府講話

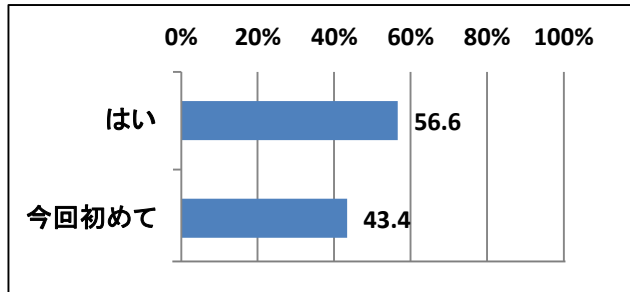


令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・長崎県島原市）

アンケート結果

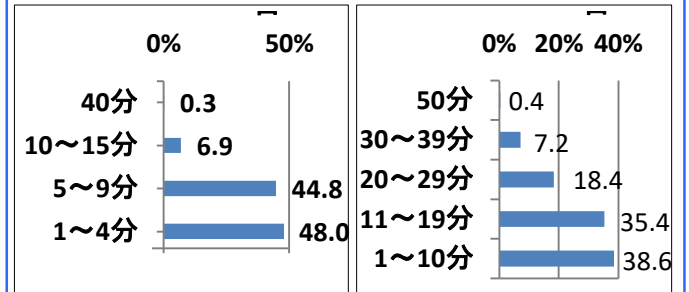
住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（アンケート回収数：253枚）

島原市が作成したハザードマップを見たことがありますか。（回答数＝226）

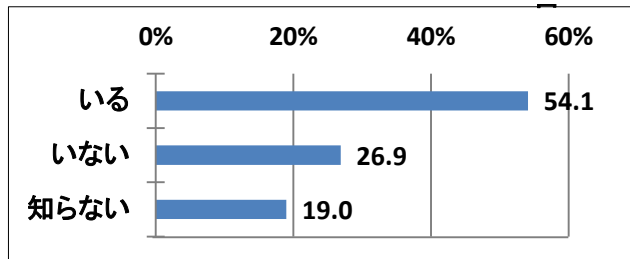


避難先には何分かかりましたか。

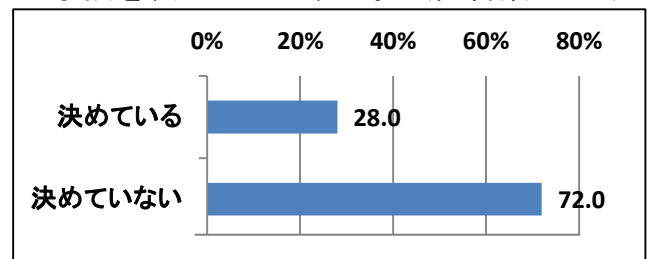
1次避難所まで(回答数＝219) 指定避難所まで(回答数＝223)



あなたの周辺には、避難行動要支援者がいますか。（回答数＝242）



災害時に一緒にいない家族との連絡手段を決めていますか。（回答数＝236）



【自由回答欄】

（良好な点）

- これを機にしっかりと知識を持とうと思った。
- この訓練に参加できてよかった。いい経験をさせてもらい、勉強になった。
- 思っていたより大掛かりな訓練でびっくりした。訓練は役に立つと思う。

（改善を要する点）

- もう少し急いで避難しないといけない。
- 1か所に集まる人が多く、時間がかかった。
- 体育館に避難した人がなくなった例があり、避難所の検討が必要である。
- 防火・水害訓練も必要と思う。
- 避難先は小学校でなく、もっと海拔が高い所がよいと思った
- 途中に坂があり、坂を登る前に津波が来れば危ないと思った。
- 足の不自由な高齢者が2人おり、同時に2人を車椅子で避難させる方法に苦慮
- 災害避難カードのケースを準備してほしい。（小中学生にはケースあり）
- 地区名の張り紙の字が小さくて探しづらい。
- バケツリレーや消火訓練は全員が見られるようにしてほしい。
- 集合場所が遠い。緊迫感がない。